

## 仙人通信 218 御前山(730m)・菊花山(644m)

御前山・菊花山は大月駅の南側に位置する山で、御前山は秀麗富岳 12 景 8 番そして菊花山は 3 等三角点の山である。

大月駅の北側にある岩殿山の駐車場(月曜なので空いている事から)に車を置き、国道 20 号の駒橋の信号近くにある厄王山入口からテントウ沢沿いの林道を登り、厄王山・御前山・菊花山をそして忠魂碑を経て、国道 20 号へと下山するコースとした。

国道 20 号の大月バイパスの交差点である駒橋の先を猿橋側に進み、厄王山入口を示す碑や道標に従い林道を 10 分程進むと御前山を示す道標だ。左手にあるテントウ沢を超えた先にある大きな赤い鳥居へと進む。近くには赤いつリブネソウやアキノタムラソウが出迎えてくれた。ここから杉林の中を沢に沿って登る登山道の始まりである。尾根の北側にある事や長雨だった事も有り滑り易く、沢を超える部位では、コースが流されてもいた。幸いにも木の幹に付けた赤テープを見つけ進むこと、20 分程で 7 号目を示す標識だ。杉林から抜け出してニレ等の落葉樹林となる。コースは東側にある尾根に向かい 10 分程で到着するも、赤い鳥居を潜ると再度先程の方向に戻る感じだ。15 分程で北側にある尾根に出る事が出来た。瘤のある滝子山や NEC の甲府工場が高速道路の上に望めた。

岩の尾根を 5 分程で岩盤を彫って作られた厄王を祀った神社で 10 号目とある。更に 10 分程で、御前山と菊花山の分岐点だ。猿橋・御前山と書かれた道標に従い進むと、表面が丸くなった岩の山頂だ。山梨は晴れるとのニュースを見て出て来てきたのだが、九鬼山や高川山は望めたものの富士山は雲の中で残念だ。。。。。

休憩後、菊花山に向かう。先程の分岐を通過すると尾根の上に大きな岩だ。岩の根元を巻き進むと 25 分程で、九鬼山への分岐である。

秋と言うこともあり各種のキノコが目につく。コウヤボウキも咲いて迎えてくれた。更に 15 分程進むと大月地区に向けられた電波の反射盤だ。この地区は落葉樹林ではあるも、人丈の笹が多く視界はあまり利かない。ピーク 2 つを 20 分程越え、更に 20 分程で 9 月末と言うのに係らず周囲にツツジやハギの花が覆う菊花山山頂だ。

北側の視界が開け岩殿山・百蔵山・扇山等や大月の町が望めた。岩殿山の標高は 630m とあるが、かなり下に見える。下山道は、かなりキツイ傾斜のうえに濡れていて良く滑る。そんな中、目の前に白いギンリュウソウが 5 本も迎えてくれた。

45 分程で大きな忠魂碑が更に 5 分程で無辺寺のある国道に到着だ。国道沿いに大月駅に進み 25 分で車に戻れた 4 時間 10 分(15000 歩)の山旅となりました。(R3.9. 27)

鳥居潜る登山道

岩屋の厄王様

御前山山頂

菊花山山頂

